

問題・解答
用紙番号

38

の解答用紙に解答しなさい。

世 界 史

〈受験学部・学科〉

法学部、外国語学部、経済学部、経営学部、
農学部【文系科目型】(食農ビジネス学科)

問題は100点満点で作成しています。

I 次の文を読み、あとの設問に答えよ。(40点)

伝説では夏王朝が中国最初の王朝とされるが、現在確認されている最古の王朝は殷^(a)である。20世紀はじめの殷墟の発掘によって、殷王朝が実在したことが証明された。殷の支配領域の西端、渭水流域におこった周は、はじめは殷に服属していたが、前11世紀頃、殷を倒して、都を(1)におき、華北を支配した。周は一族や功臣のほか、有力氏族の首長を世襲の諸侯とし、卿・大夫・士などの家臣にも諸邑を封土として分与して統治をまかせる(2)制の支配体制をつくりあげた。

前770年、内紛と西方の遊牧民の攻撃によって、周は都を洛邑に移したが、それ以後、周の勢力は衰え、諸侯が勢力争いをくりひろげる時代となった。この時代の前半を春秋時代、後半を戦国時代という。春秋時代には、覇者と呼ばれる有力な諸侯が衰えた周王にかわって諸国を束ねたが、戦国時代には周王を無視して王を称する諸侯が増え、やがて戦国の七雄と呼ばれる七つの強国がならびた。春秋・戦国時代の激動は、社会秩序のあり方を模索する新たな思想を呼びおこし、(3)と総称される思想家たちがあらわれた。^(b)孔子や孟子に代表される儒家は、家族道徳を基本にして礼による社会秩序の実現を説き、老子や荘子に代表される(4)は、人為的なものを排し、自然の道と天命に従う無為自然を説いた。

戦国の七雄の一つであった秦^(c)は、前4世紀に商鞅^(d)の変法によって強大化し、6国をつぎつぎに滅ぼして、前221年に中国を統一した。秦王の政(始皇帝)は李斯を丞相として、自国内でおこなっていた郡県制を全国に施行し、焚書・坑儒による思想統制をおこなった。対外的には、^(e)匈奴の侵入を防ぐため、長城を修築し、華南を征服して南海など3郡をおいた。しかし、始皇帝

の死後、過酷な政治に対する不満が爆発し、農民らが蜂起して (5) の乱（前209～前208年）がおこった。それをきっかけとして各地で反乱がおこり、前206年、秦は滅んだ。

各地の反乱勢力のなかで、農民出身の劉邦は楚の名門の出である (6) を倒し、長安を都として漢王朝（前漢）をたてた。皇帝の位についた劉邦（高祖）は、郡県制と (2) 制を併用する (7) 制を採用した。しかし、^(f)諸侯王の反乱の平定後、実質的に郡県制に移行し、^(g)武帝のときに中央集権体制が成立した。武帝は、匈奴を撃退するとともに、西域や衛氏朝鮮、南越へも遠征し、対外戦争に積極的であった。また一方で、(8) の意見を採用して五経博士をおき、^(h)儒学を官学とした。これによって礼と徳の思想による社会秩序の安定化がめざされた。

問1. 空欄 (1) ～ (8) にもっとも適切な語を記入せよ。

問2. 下線部(a)～(h)について、以下の問いに答えよ。

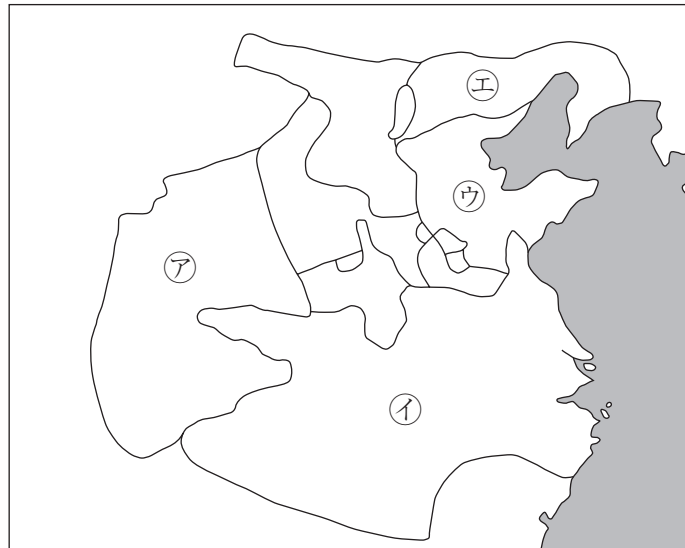
(a) 殷に関する説明のうち、誤っているものを一つ選べ。

- ㊶ 現在の漢字のもとである甲骨文字が占いの記録に使われた。
- ㊷ 高度に発達した青銅器が祭祀や武器にもちいられた。
- ㊸ 宗教的儀礼をつうじた神権政治によって、王は多数の邑を支配した。
- ㊹ 鉄製農具が使われ、牛に犁を引かせる牛耕が始まった。

(b) 孔子とその弟子の言行を記録したものは何か。正しいものを一つ選べ。

- ㊶ 『詩経』
- ㊷ 『春秋』
- ㊸ 『楚辞』
- ㊹ 『論語』

(c) 秦の位置はどこか。地図上の記号㊶～㊹から正しいものを一つ選べ。



- (d) 秦は商鞅・韓非・李斯らの学派の思想に基づく政治をおこなった。この学派は何か。正しいものを一つ選べ。
- ㊦ 名家 ㊦ 兵家 ㊦ 法家 ㊦ 墨家
- (e) 匈奴に関する説明として、正しいものを一つ選べ。
- ㊦ 広開土王のときに全盛をむかえ、朝鮮半島北部まで支配下におさめた。
- ㊦ ソンツェン=ガンボのときにラサを都とする統一国家をたてた。
- ㊦ 長く遼の支配下にあったが、完顔阿骨打のもとで国家を形成した。
- ㊦ 冒頓単于のもとで急速に勢力を拡大し、月氏などをうって遊牧国家を築いた。
- (f) この反乱を何というか。正しいものを一つ選べ。
- ㊦ 安史の乱 ㊦ 呉楚七国の乱 ㊦ 三藩の乱 ㊦ 八王の乱
- (g) 武帝に関する説明として、正しいものを一つ選べ。
- ㊦ 華北と江南を結ぶ大運河を完成させた。
- ㊦ 官吏登用制度として九品中正法を制定した。
- ㊦ 塩・鉄・酒の専売や均輸・平準による物価統制をおこなった。
- ㊦ 度量衡・文字・車軌を統一するとともに、貨幣を半兩錢に統一した。
- (h) 儒学に関する説明のうち、誤っているものを一つ選べ。
- ㊦ 義浄は注釈書『五経正義』を編集して、儒学の五経の解釈を統一した。
- ㊦ 王守仁（王陽明）は儒学の一学説である陽明学をひらいた。
- ㊦ 宋代の儒学は朱熹によって大成されたため、朱子学と呼ばれた。
- ㊦ 儒学の正統とされた朱子学は、日本や朝鮮半島にも伝えられた。

Ⅱ 次の文を読み、あとの設問に答えよ。(30点)

産業革命は18世紀後半のイギリスで始まった。大量生産を可能にする技術がつぎつぎと発明され、^(a)機械制大工場が経済の主軸となり、19世紀前半にかけて工業化がすすんだ。技術革新は最初に綿工業の分野でおこった。1733年に [(1)] が飛び杼を発明したことで、綿織物の生産量が急増した。綿糸が不足したことから、ハーグリーブズが多軸紡績機を、 [(2)] が水力紡績機を、クロンプトンが [(3)] 紡績機を発明し、綿糸の大量生産が可能になった。これを受けて [(4)] が力織機を発明し、綿織物の生産がさらに増大した。ワットが改良した蒸気機関は水力にかわる動力源となり、生産の効率をさらに高めた。

機械制大工場に基づいた工業化は、都市の発展と交通機関の改良をもたらした。綿工業の中心地として栄えたマンチェスターをはじめとして、 [(5)] やバーミンガムのような商工業都市が発展した。1825年にスティーヴンソンが蒸気機関車を実用化すると、都市の発展にともなってイギリスでは鉄道建設がすすみ、30年にはマンチェスターと [(5)] のあいだの旅客鉄道が開通するなど、19世紀半ばまでに鉄道網が完成した。こうしてイギリスは19世紀半ばには「世界の工場」の地位を獲得した。^(b)

1830年代から、ドイツでも鉄道建設と軍備増強を軸とした重工業中心の産業革命が進行した。連邦体制のもとで政治的分裂状態が続いていたドイツでは、ライン川中流域の工業地域を有するプロイセンが経済的統一をめざした。1834年には、プロイセンを中心にオーストリアを除く大多数のドイツ諸邦からなる [(6)] 同盟が発足した。それにより統一市場の形成がすすめられた。62年にプロイセン首相となった^(c)ビスマルクは、 [(7)] と呼ばれる地主貴族の出身であった。ビスマルクは71年には [(8)] を皇帝とするドイツ帝国を成立させ、ドイツ統一を実現した。

アメリカ合衆国では1807年に [(9)] が蒸気船を開発し、世界の海上交通の発展に貢献していた。さらに、アメリカ=イギリス戦争(1812~14年)がきっかけとなって工業化が本格化した。この戦争によってイギリスからの工業製品の輸入がとだえたため、国内の綿工業で機械化が進展し、工業化が促進されることになった。65年に [(10)] 戦争が終結すると、石炭・石油・鉄鋼などの重工業がめざましく発展した。^(d)19世紀後半には、東欧や南欧からの移民の流入がアメリカ合衆国の経済発展を支えた。重工業を中心とした工業化の進展によって、アメリカ合衆国は19世紀末にはイギリス・ドイツをしのぐ世界一の工業国となった。こうした19世紀の欧米における工業化の進展の背景には、^(e)科学技術のめざましい進歩があった。

問1. 空欄 (1) ～ (10) にもっとも適切な語を記入せよ。

問2. 下線部(a)～(e)について、以下の問いに答えよ。

(a) イギリスにおいて工場労働者の待遇改善となえ、労働組合や協同組合の設立に尽力した人物は誰か。正しいものを一つ選べ。

- ㉠ フーリエ ㉡ サン=シモン ㉢ オーウェン ㉣ コブデン

(b) これによりイギリスは広大な植民地帝国の形成をおしすすめた。インドではムガル皇帝を廃し、その後イギリス女王を皇帝とするインド帝国を成立させた。このときイギリスの首相であった保守党の政治家は誰か。正しいものを一つ選べ。

- ㉠ ジョゼフ=チェンバレン ㉡ グラッドストーン
㉢ セシル=ローズ ㉣ デイズレーリ

(c) この人物に関する説明のうち、誤っているものを一つ選べ。

- ㉠ フランスを孤立させるため、イギリス・ロシアとともに三帝同盟を結んだ。
㉡ プロイセン=オーストリア戦争に勝利し、翌年北ドイツ連邦を成立させた。
㉢ プロイセン=フランス戦争に勝利し、フランスにアルザス・ロレーヌを割譲させた。
㉣ 近代化と政教分離を批判するカトリック教会と対立し、カトリック教徒を抑圧する「文化闘争」を展開した。

(d) この時期のアメリカ合衆国に関する説明のうち、誤っているものを一つ選べ。

- ㉠ 州法などによって黒人の投票権が制限され、公共施設を人種別にわけるなどの差別的措置がとられた。
㉡ ラテンアメリカ諸国に対するヨーロッパ列強の武力干渉をけん制するモンロー教書(宣言)が発表された。
㉢ 大陸横断鉄道が完成し、国内市場は緊密なネットワークで結ばれることとなった。
㉣ アメリカ合衆国はアメリカ=スペイン戦争をおこし、スペインからフィリピン・グアムおよびプエルトリコを獲得した。

(e) 19世紀の科学技術における発見や発明に関する説明のうち、誤っているものを一つ選べ。

- ㉠ エディソンが電灯を発明した。
㉡ キュリー夫妻がX線を発見した。
㉢ ノーベルがダイナマイトを発明した。
㉣ マイヤーとヘルムホルツがエネルギー保存の法則を発見した。

Ⅲ 美術および建築の歴史に関する次の文章(1)～(5)には、下線部が正しいものと正しくないものがある。正しいものについては㉗を、正しくないものについては㉘～㉛からもっとも適切なものを選び。(30点)

(1) 灌漑農業の発達によって人口が急増したメソポタミア南部では、前2700年頃までにウル・ウルクなどの都市国家がフェニキア人によって形成された。城壁でかこまれた都市の中心部には壮大なジグurat（聖塔）がたてられ、神がまつられた。

- ㉘ アラム ㉙ シュメール ㉚ ヒッタイト ㉛ ヘブライ

(2) エジプトでは前14世紀にアメンホテプ4世がテル=エル=アマルナに都を定め、伝統的な多神教を否定して一つの神（アトン）だけを信仰する改革をおこなった。改革は王の死で終わりを告げたが、伝統や形式にとらわれない写実性豊かなアマルナ美術がうみ出された。

- ㉘ アレクサンドロス大王 ㉙ シャープール1世
㉚ ダレイオス1世 ㉛ ホスロー1世

(3) 古代ギリシアの建築や美術では、調和と均整の美しさが追求された。ペリクレスのもとで造営されたアテネのパルテノン神殿は、ギリシア建築の均整美を今に伝える建築物である。彫刻では理想的な人間の肉体美が重視され、ヘシオドスやプラクシテレスなどの彫刻家が活躍した。

- ㉘ アリストファネス ㉙ ソフォクレス
㉚ トウキディデス ㉛ フェイディアス

(4) 1世紀に西北インドに成立したヴァルダナ朝は、2世紀のカニシカ王の時代に最盛期をむかえた。カニシカ王によって大乘仏教が手厚く保護され、ヘレニズム文明の影響もあって仏像がつくられるようになった。ギリシア彫刻の手法を取り入れたこの時期の北インドの仏教美術を、ガンダーラ美術と呼ぶ。

- ㉘ クシャーナ ㉙ サータヴァーハナ
㉚ チョーラ ㉛ マウリヤ

(5) 4世紀前半におこったグプタ朝は、第3代の王のときに北インド全域を統治する大王国となった。仏教美術ではインド西部のラスコーにある石窟寺院の壁画に代表されるように、完成度の高いインド固有の様式が発展した。

- ㉘ アジャンター ㉙ アルタミラ ㉚ ナーランダー ㉛ パータリプトラ

(6) ビザンツ帝国はギリシア正教の中心として、独特の文明をうみ出した。美術・建築においては、みごとなドーム（円屋根）とモザイク壁画を特徴とするビザンツ様式の教会建築が有名で、ハギア=ソフィア聖堂がその代表例である。

- ① アラベスク ㉞ 細密画（ミニアチュール）
② ステンドグラス ㉟ ストゥーパ

(7) ヨーロッパでは11世紀頃、修道院建築を中心に、半円状アーチと重厚な石壁や小窓を特徴とするロマネスク様式がうみ出された。ピサ大聖堂はヨーロッパ最大級のロマネスク様式の聖堂として有名である。

- ① ケルン大聖堂 ㉞ サン=ピエトロ大聖堂
② シャルトル大聖堂 ㉟ ノートルダム大聖堂

(8) 12世紀は建築美術にとっての転換期で、都市の大聖堂を中心に、尖頭アーチと空高くそびえる塔を特徴とするゴシック様式が発達した。繁栄する商人の経済力を背景に、サン=ピエトロ大聖堂をはじめとするゴシック様式の教会が各都市に建設された。

- ① ヴォルムス大聖堂 ㉞ サン=ヴィターレ聖堂
② シャルトル大聖堂 ㉟ ピサ大聖堂

(9) 14世紀から16世紀にかけて、古代ギリシア・ローマの文化や人間の生き方にあらたな価値を見出し、人間の理性や感性を重視する文化創造の動き（ルネサンス）が広まった。最盛期には「最後の晩餐^{ばんさん}」や「モナ=リザ」で名高いボッティチェリをはじめ、すぐれた芸術家が輩出された。

- ① ブルネレスキ ㉞ ミケランジェロ
② ラファエロ ㉟ レオナルド=ダ=ヴィンチ

(10) イラン北西部では16世紀にサファヴィー朝がひらかれ、第5代の王アッバース1世のときに最盛期をむかえた。アッバース1世はサマルカンドを首都とし、華麗な建造物と庭園でかざった。とりわけ、「王のモスク（イマームのモスク）」は青を中心とするタイル装飾で名高い。

- ① アンカラ ㉞ ইসファハーン
② ダマスクス ㉟ バグダード

(11) ヨーロッパでは17世紀を中心に豪壮華麗なバロック様式の芸術が流行し、君主の宮廷生活との結びつきを深めながら、彼らの権威を誇示するのに役立てられた。絵画ではスペインのミレーやムリリョらの肖像画や宗教画が宮廷を華やかにかざった。

- ① ゴヤ ② ピカソ ③ ベラスケス ④ レンブラント

(12) 強大な権力をふるって「太陽王」と呼ばれたフランスのルイ13世は、パリ郊外のヴェルサイユに、長い年月をかけて豪華な宮殿を造営した。宮殿には、建築・造園・彫刻・家具にいたるまで当時として最高の芸術が集められた。

- ① ルイ14世 ② ルイ15世 ③ ルイ16世 ④ ルイ18世

(13) 18世紀になると、優雅で繊細なロココ様式の芸術が王侯貴族や富裕市民のあいだで愛好されるようになった。美術ではフランスの画家ワトー、建築ではプロイセンのフリードリヒ2世がポツダムにたてたアルハンブラ宮殿がその代表的なものである。

- ① ウェストミンスター ② サンスーシ
③ テュイルリー ④ トプカプ

(14) 19世紀前半のヨーロッパ文化を特徴づけるロマン主義は、人間の感情の解放と躍動する個性の尊重を説くもので、文学や芸術に大きな影響を与えた。絵画では「キオス島の虐殺」や「民衆を導く自由の女神」を描いたドラクロワらが、調和を重視した古典主義の様式を破る色彩や同時代的テーマを採用した。

- ① ファン＝ダイク ② フェルメール
③ マネ ④ モネ

(15) 19世紀後半のヨーロッパでは、市民社会の成熟と自然科学の発達が発達も影響を与えるようになり、写実主義や自然主義が盛んになった。光や色彩を重んじる印象派はこうした流れのなかから生まれ、「ムーラン＝ド＝ラ＝ギャレット」や「ブランコ」などの作品で知られるロダンらがすぐれた作品を残した。

- ① エル＝グレコ ② ブリュエール
③ ルノワール ④ ルーベンス